

一生勉強 一生感動 一生青春 (第33号)

福井いきいき会新聞

2021年9月発行
発行：福井いきいき会
市中央1-9-29
0776-28-6464
発行責任者 吉岡副会長

文化祭の開催

コロナ禍の中で開催できるかどうか心配していましたが、第五波の感染拡大がほぼ収束し、予定通り十月三日(日)の正午から、開催できる運びとなりました。文化祭は、当会として初めての行事で、会員の文化活動を舞台で、あるいはロビーで、披露するものですが、日頃は別々のサークルに参加しておられる会員が、一

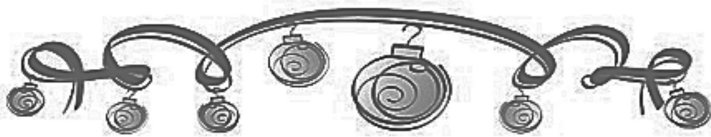
堂に集まる絶好の機会でもあります。



認知症支援のオレンジ色にライトアップされた一条谷遺跡

翻つて見るに、当会は、二〇一三年一月に、福井会長の熱意でわずか二十人ほどで発足した会でしたが、引きこもりになりがちの高齢者に友達作りや楽しみ、また新たな勉強の機会を提示する会として、順調に発展してきました。発足後、八年九か月を経過した現在では、二十四ものサークル活動が連日福井駅前よろず茶屋で開かれています。しかし、当会にも、高齢化が進んできたという課題があります。そこで、新たな仲間に参加して頂けるように、この文化祭では、当会の概要と入会の案内などの資料、および福井いきいき会新聞の最新号(本誌)なども配布いたします。さて、前置きが長くなりましたが、今回の文化祭のプログラムとその内容を、予告の形でお知らせします。ので、ご覧いただき、当日お友達も誘って参加していただけるようお願いいたします。

文化祭のプログラム



文化祭プログラム

開催日 令和3年10月3日(日) 開場12時
場所 ハピリン3階のハピリンホール 入場無料

1. ロビー展示 開始12時から 16時半まで

サークル紹介と会員の作品展示

2. 舞台発表 開演13時から

- 13:00 会長の開催挨拶
- 13:02 福井いきいき会の紹介 (10分)
- 13:15 合唱サークルの合唱 (20分)
- 13:40 演劇開始 劇団幸齢者の演劇 (40分)
- 14:20 休憩 15分 (ロビー展示 説明)
- 14:35 健康体操 (5分)
- 15:40 カラオケ (25分)
- 15:10 川柳、短歌の紹介 (15分)
- 15:30 うたのサロン (30分)
- 16:00 副会長の閉会挨拶 終演 (1分)

舞台発表終了後 16:30迄 ロビーでサークル紹介を続けます

主催 福井いきいき会
後援 福井県 および 福井市



文化祭は、正午からのロビーでの展示と午後一時からの舞台で発表の二つに分かれています。まず展示では、当会全体のサークル活動二十四をそれぞれのサークルの主宰者や関係者が、ポスターで紹介致します。興味のあるポスターについて、説明を聞き、気に入ったらぜひサークルに参加してください。もう一つは、会員の作品の展示です。写真、絵画、手作りの作品や、趣味の収集品なども展示されます。同じ趣味を持つ方々同志でお友達

になつて下さい。次に舞台での発表は、午後一時から、左に示したプログラムで進めたいと思います。まず、福井会長の開会挨拶に続いて、吉岡副会長が、当会の概要を大きなスクリーンに投影して説明いたします。この後が、舞台発表の本番です。まず、合唱クラブが、「野に咲く花のように」、「高校三年生」、「もみじ」、「故郷」、「七つの子」、「手のひらを太陽に」、「この街で」を男女十二名のメンバーが、小林副会

長の指揮、和田真実先生のピアノ伴奏で唄います。合唱が終わると、当会の芸能倶楽部の劇団「幸齢者」が、演劇「竹の子と嫁さん」を上演します。この作品は今回が初演です。この発表のために、団員が心がけたのは、台詞や取りの掛け合いの呼吸だそう。前の台詞に被るほどのテンポで、ポンポンと進む掛け合いの面白さに挑戦したので、観客の皆さんにそれを感じて頂きたいとのこと。劇のストーリーは、

見てのお楽しみ。座長は林幸男さん、十人の団員が演技されます。

演劇が終わると、五分の休憩に入りますが、この時間にも、ロビーでの展示や説明をお聞きください。

舞台発表は、二時三十分から再開されます。まず、健康体操は、シアのフィットネス施設「アルク」から派遣されるプロの指導者野尻さんが指導されますので、参加者の皆さんは客席で体をほぐしてください。

続くカラオケの発表では、サークルの主要メンバー七人が、自慢のうたを披露します。まず、新曲専門の増永一夫さんが「夜雨子（ようこ）」、増永雅子さんがセリフ入りの曲「姉弟役者」、田中勝美さんが「いのちの花」、新田ヨシエさんが「なさけ舟唄」、吉岡芳夫さんが「愛しき我が人生」、西川文夫さんが「酒と泪と男と女」、そして最後は、竹内貫さんが「愛の讃歌」を声高らかに歌い上げます。

カラオケの次は、川柳同好会と短歌の会の発表で、それぞれの例会で発表した会員の川柳と短歌の作品を、大きなスクリーンに投影して紹介されます。思わず笑ってしまうような川柳や、文芸の香りのする短歌の作品を鑑賞してください。川柳の主宰者は小坂武士さん、短歌の主宰者は寺岡弘文さんです。

最後の出し物は、うたのサロンです。音大出身の三姉妹で、長女のまさよさんが歌詞をスクリーンへ投影し、次女のかずえさんがピアノ伴奏、そして、三女の華音さんが、全体をリードし曲にまつわるお話とともに、会場のお話を歌の世界に引き込まれます。会場の皆さんは、華音さんのリードで唄ってください。取り上げる歌は、まず「高原列車は行く」、南国土佐を後にして、「好きになつた人」の三曲をフルで唄います。そのあと、リーダーの華音さんはオカリナ演奏を披露されます。そして最後に、「あざみのうた」、「ふるさと（五木ひろし）」、「三百六十五歩のマーチ」の三曲をメドレーでうたい、舞台発表を終わります。

そして、小林副会長による舞台発表閉会の挨拶へと進みます。

舞台発表の後、四時半



自作紙芝居で認知症啓発

福井新聞に掲載され山口さん

までは、ロビーでの展示を続けていきますので、作品を見ながらお帰り下さい。

以上が、文化祭のプログラムの概要です。この文化祭が、福井いきいき会の新たな発展につながることを期待してやみません。

敬老の日、福井新聞が山口悦子さんを生涯現役の高齢者として紹介

特別養護老人ホームの職員やケアマネージャーとして長年多くの認知症の人と関わってこられた山口悦子さんは、認知症は誰もがかかるかもしれない病気だからこその、わかりやすく伝えたいという思いで、八年前から認知症の症状や当事者への接し方などを紙芝居にして、県内の高齢者施設や小中学校で披露する啓蒙活動を続けておられます。山口さんは今も電動アシスト自転車や高年齢サークルに通い唄や演劇を楽しんでおられます。首に巻くスカーフは気分を変えたりよつとしたおしゃべりが大事と微笑んだ。そんな風に紹介されていました。



手ひねり体験の様子

夜明けの会が二度目の日帰り旅行

夜明けの会は、九月十日（金）に、越前市めぐりとして、福井県陶芸館での手ひねり体験とレストラン夢屋でのステークランチの日帰り旅行を行いました。多くの会員が楽しんでいることを喜ばれました。

九月十四日の運営委員会では、このような日帰り旅行は、当会の行事として行つてはどうかと提案されましたが、審議の結果



濱田相談役

会員のページ

人生訓

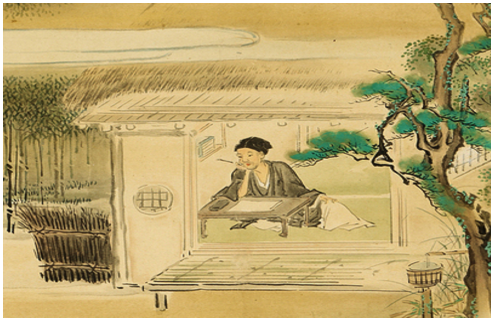
名利につかれ静かになるひまなく一生を苦しむことこそ愚かなれ

（吉田兼好）

濱田 芳雄

徒然草の作者として、日本人にはなじみ深い吉田兼好の言葉の一つです。徒然草と言うのは、つれづれなるままにと、つするに暇にまかせて書いて、随筆の中に人生のいろいろな知恵がちりばめられていくというもので、昔から日本人に愛読され

果、今後もこれまで通りの夜明けの会の行事として行うことになりました。つきましては、夜明けの会に出られない方でも、参加希望者は、主宰者の福井会長に申し込みください。



徒然草の吉田兼好

てきた本です。その中の一節が、ここに引用された言葉です。

名利と言うのは名声とか、利益という、いかにもはかれない社会的なものに惑わされて、心静かになる暇もなく、慌ただしく一生を苦しみながら過ごすと言うのは、まことに愚かなことだと言う達観した言葉です。これは世捨て人というか、超俗の人と言いますか、この世から距離を置いてクルに眺めている人が言えることであって、実際には、大多数の人々が名利といわれるのに追われて、一生あくせくして暮らすということになっていきます。

名利の中で、特に利益はいいとして、もう一つの名が問題です。名は名

誉、名声といったようなもので、最も抵抗しがたいものは名譽欲であると人間的にも一定の地位になると、肩書が欲しくなりまして、勲章も欲しくなりまして、勲章をもらいたいの、あんなに叙勲されたいといふので、いろんな団体の長のポストに長く居座っている人がおられます。その人の気持ちは分かるのですが、そういう年をとった方が自分の名利のために長く責任者の地位にいることは、日本の経済とか経営の活性化を妨げているのだと言うことを知っていたらだかなくてはなりません。

私は、叙勲制度というもの、日本の経済社会の活性化を妨げている大きな一つのブレーキになっているのではないかと、かねがね思っているのですが、このへんについて、冷静に考えたいです。冷たいものだと思います。

「徒然草」には、このほかにも日本人の心情をとくもよくとらえた随想がたくさん書かれていて、それをうちのいくつかを挙げてみましょう。

「改めて益無きことは、改ためぬをよしとするなり」

「いかなる女なりとも、明け暮れ添い見んにはいと心づきなぐ憎かりなん、（毎日一緒に暮らしている）飽きが来て、憎いとさと思つちになる・・・」

「おぼしきこと言わぬは腹ふくるるわざ」（言いたいことを言わないと、うつぶんがたまりストレスが昂じる）

「家居は夏を旨とすべし。冬はいかようにも凌ぐことを得べし」（家を建てる時は、夏を中心に考えることが肝心）

「吉凶は人にありて日にあらず」（大安とか友引などと言うのは迷信？）

「心なしと見ゆる者も、良き一言はいふものなり」

「第一に食物、第二に着る物、第三に居る所なり。人間の大事この三つに過ぎず」

「百薬の長と言えど、万の病は酒よりこそ起これ」

「ものあわれは秋こそまされ」

新沼謙治さんに思う

吉田一郎

今回は歌手の新沼謙治さんのことを書きたいと思えます。



吉田さん

新沼さんは私より七つ年下ですが、感覚的には同世代です。

デビュー曲の「おもいで岬」をはじめとして、「嫁に來ないか」「ハッピードライブ」「津軽恋歌」「今きたよ」「雪の宿」など、好きな歌がたくさんあります。新沼さんは高音が伸びる歌声が特徴的です。きれいに澄んだ声でありながら、かすかに東北なまりがある声に、私には心地よく響いてきました。

最初はその歌に聞きほれていました。のちに彼の人のなりを知ると、いっそう親しみが湧きました。

新沼さんは岩手県出身ですが、中学卒業後家を助けるために働きに出ました。働きながら「スター誕生」に挑戦し、五回目で念願の合格を果たしています。その後湯木博恵さんと結婚しました。湯木さんはバドミントン



ああ ふるさとは 今もかわらず

の日本代表選手で、四度の世界チャンピオンになった強豪でした。湯木さんは「芸能界の人だけなど、普通なんです。派手なところがなくて妙にすんなり話ができました」と話していました。

デートについて問われた新沼さんは「夜ちよつくら出てきてもらって、なじみの焼き鳥屋さんくらい僕をよく知って話していたから」と話していました。湯木さんは二〇一一年九月にがんがなくなりました。六二歳という若さでした。あの三、一一大震災の半年後でした。

湯木さんは「もう支えることができないうので自立してね」という言葉を

残して旅立ったそうです。翌二〇一二年十一月に「ふるさととは今もかわらぬ」という自作の曲を新沼さんは発表しました。「爽やかな朝靄（あさもや）の中を 静かに流れる川 透き通る風は身体（からだ）すり抜け 薫る風の青さよ」で歌は始まります。この歌詞には、誰もが憶えのあるふるさとの情景が浮かんできます。「この町であなたと出逢えて 本当によかった ありがとうふるさと 青空よ」と続きます。

これには、誰にもいる最愛の人が浮かびます。新沼さんはきつと妻の博恵さんを思い浮かべていたのでしょうか。

最後は「ふるさと 来へつづけ」で終わります。飾らない素朴な歌詞ですが心を打ちます。心に深い悲しみを抱えながら、一歩踏み出している東北の被災地の人たちの共感を呼んでいるのも、うなずけます。

「ふるさととは今もかわらぬ」とは新沼さんと中学生による合唱曲でした。発売されるやいなや、「私たちが歌いたいのので譜面がほしい」という声が、発売元の日本コロムビアに殺到したといわれています。

もう一つ私の好きな曲があります。「左官職人 こね太郎」（二〇〇四）という歌です。これも新沼さん自作の曲です。

新沼さんはデビューする前に、左官職人として働いていた時期があり、仕事をのつらさを笑い飛ばすようなユーモラスな歌詞に思わず頬がゆるみます。働く人間の心意気を感じさせる歌です。

ふるさとの被災地を思いながら頑張っている新沼さんに、エールを送っています。

（先月号の吉田さんのエッセイで、韓国のイ・九段が引退したのは、二〇一九年、写真の棋士の名前は、藤井聡太と訂正させていただきます）

歌は心の支え

増永一夫

最近ではカラオケ採点機で練習しながら盛り上がる仲間同士が多くなってきました。音程パーカ外れないように歌うことや、マイクを近づけたり遠ざけたりして歌うのも大切な点だそうですね。どんな歌でも同じでしょうが、何度も詩を読んだり、気持ちをイメージしながら歌うように歌えれば良いのですが、聞いて



増永さん

ていても元気が出る歌は私にとってぴったりと言え、簡単にできることでもないし、リズムテンポが早くてついていけず、歌うのが難しいものが多いですが、どんな歌にでも挑戦し、自分なりに上手に歌えた時は、ホッと気分です。

また歌によつては難しいと感じるメロディーもあり、それなりに雰囲気を出して歌えば聞く人にも伝えられるように思えます。中には途中でワンテンポからツテンポおいて歌うものもあり、そこから調子が狂うこともあります。

ウォーキング中歩く速さと同じ位のテンポの歌を声を出して歌ったりすると疲れませんよ！途中で多少声が太くなったり、なあと気づく時もあるかな。そのうち上達への近道もわかり「唄いつつぷりが見事ですな」って言われてみたいですね（笑）。

私が命を失いかけたこと

佐々木晃一



佐々木さん

ズバリ九死に一生を得たことです。国道で危うく正面衝突

今から三十年位前、当時私はある警備会社に勤務しており、小浜の配属先に鯖江の自宅から通っており、その日は夜勤で仮眠は二時間あり、揉めていて全く眠れず、朝勤務明けに国道二十七号線で帰宅していた時のことです。あまりにも眠いのでパチンコ店の駐車場で休めようとしたら、ぼんやりしながら運転を続けていたところ案の定眠りながら運転したらしく、突然車体ががたがたと言う激しい音と振動で目が覚めました。反対車線の側溝に右側の両輪を落とすして止まっていたのです。

この国道は交通量が多く、この時トラックとでも

正面衝突していたら命はどうなっていたかわかりません。JAFを呼んでなんとか家に帰りました。が奇跡のように感じたものです。

その二 堤防から転落しかけた

四十年前位前、当時私は名古屋で公務員をしていました。友達から中古車を購入することになり、その試運転で一人で庄内川の堤防を走っていました。帰ろうとしてUターンしたところ道幅が狭いのでストップしました。

見ると堤防の高さは二十メートル位あり下には人家が密集していました。慌てて後退しようとしたらバックに入れたつもりが前進のローになっていったのに気づかず、アクセルペダルを踏んでクラッチをつないだところ、幸運にも繋ぐ動作が早すぎた。かんと車が停止しました。もしほんとは五十七センチ位なら先方は五十センチ位しかなかったら、おそろしく転落していたでしょう。後はどのような想像の通りです。

その三 町道のがけ下に転落しかけた

三十年位前の話です。越前町の四力浦で叔父の

葬式の後鯖江に帰ろうと急いでいたところ、急に大きなボタン雪が降ってきた。道路はたちまち三センチ、五センチと積雪しました。この状態で山道の急坂に差し掛かったところスリップして車は後退するではありませんか。慌ててサイドブレーキをかけて何とか停止しましたが、もう発進できる状態ではありません。

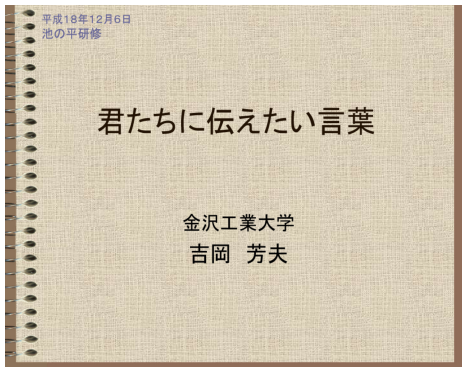
手をこまねいていたところ、まもなく幸運にもブルトナーがスノーチェインの音を響かせて通りかかったので、お願いして私の車を牽引してもらい、鯖江に帰りつきました。崖の深さは五十メートル位ありましたので、転落していたら命はなかったことでしょう。

終わりに、皆様も似たような経験が、おありと思えますが、人生八十年ありがたいことにこれらの経験をしながら生き延びてきました。若い人も年配者には何かあったらうがよくぞ生きてきたものと尊敬(?)してご自身も気をつけていただく嬉しきことと。

研究室の学生に

伝えたい言葉

吉岡 芳夫



現役時代の大半を、企業の研究開発部門で過ごした私ですが、定年退職後は、金沢工業大学の教員として第二の人生を送りました。直接教育に携わったのは九年間で、百三十八人の学部生、二十一人の修士、一人の博士を社会に送り出すことができました。私立大学では、秘書や部下がいた企業時代とは打って変わった授け、ほとんどどの仕事を教授ひとりでも、やらなければなりません。担当する授業科目も九年間で十科目にもなり、ハードな職場でした。

長い夏休みは、四年時の学生や教員にとつて研究やその指導ができる最適な期間でした。卒業研究や修士論文をまとめる十二月頃には、妙高高原にある大学の研修所で学

生とともに一泊し卒業研究などの中間発表をする。研修をしていました。この研修で、私は、いつも学生に社会人として大切なことを、古典から選んで話していました。以下は、その時取り上げた古典の言葉です。

- 一・これを知る者はこれを好むものに如かず。これを好むものは、これを樂しむものに如かず。
- (知識には、レベルがある。本当に分かってくると楽しくなるよ)
- 二・徳は事業の基なり。
- (菜根譚)

- (成功するには、実力とともに人徳が必要だ)
- 三・言は行を顧み、行は言を顧みる(中庸)
- (世の中有言実行が常識)
- 四・好んで人の悪を称すれば、人またその悪を道(い)う。(説苑)
- (悪口を言つてはダメ)

- 五・我に投ずるに桃を以つてすれば、これに報いるに 李(すもも)を以つてす。(誌経)
- (御世話になつたら感謝しなればいけません)
- 以下は、論語から
- 六・人に真なくば、その可なるを 知らざるなり(信頼される人になりな

- さい)
- 七・巧言令色、鮮(すくな)し仁
- (言葉だけではだめよ)
- 八・己の欲せざるところ人に施す勿れ。
- (人に迷惑をかけてはならない)
- 九・子曰く、過ちて改めざる 是を過ちという(間違いや失敗をしたら、次は改めること)
- 十・子曰く、之を如何にせん、之を如何にせんと言(い)わざる者は、吾、未だ之を如何ともすることなきのみ
- (自分で考えて行動する人になつてほしい)

八月の 川柳同好会作品

- 旅自肅 旅行カバンは 入院用
- 林 進
- 星占い 良いことあるか 魚座の我
- 上坂 征夫
- 癌よりもなりたくないよ 認知症
- 新田ヨシエ
- 短さは 足だけでなく 性格も
- 南部 歳子

- 食うために一円安い 店は何処 増永 一夫
- 川柳も ネタを消すなど 神頼み 福井 康人
- 老いの道 息子の声に 耳向ける 吉田美恵子
- 親感染 子どもの防染 四苦八苦 大野 勉
- オードリー美人はいいな 何時までも 吉野 廣
- 食べ過ぎも 飲み過ぎも それ若いから 澤村 玲子
- 見返えりを期待するから 腹が立つ 小坂 武士
- 来た人で 会話がはずむ 会がいい 吉岡 芳夫
- マスク下ランチの日には 厚化粧 松島 成美
- お化粧はだれに見せるの おしえてよ 濱田 芳雄
- 上場株 かと思いきや 変異株 小林 久子

令和三年 十月の行事予定

文化祭
当会初めての文化祭です。詳細は、第一、二面を参照してください。

例会（講演）

今月は、アオッサの会場予約が取れないので例会は中止し、運営委員で文化祭の反省をで行います。

歴史を楽しむ会 講師 井上清一氏

「明治時代を見直そう」という演題でお話してくださいます。いつもわかりやすくお話をいただけます。

R3年10月の行事予定表				
日付	曜日	活動場所	開始時間	行事名
1	金	マ		
2	土	マ	B	13:00 卓話を聴く会
3	日	ハピリン	13:00	文化祭
4	月		B	13:00 合唱サークル(37)
5	火		B	13:00 映画鑑賞会
		市体育館	13:00	ピンポンの会
6	水		B	13:00 経済指標を考える会
7	木		B	13:00 囲碁将棋
		市体育館	13:00	ピンポンの会
8	金	マ	B	13:00 よろず討論会
9	土	マ		
10	日	マ	B	13:00 夜明けの会
11	月		B	13:00 新聞記事を読む会
12	火		B	13:00 運営委員会
13	水		B	13:00 囲碁将棋
14	木		B	13:00 易しい科学の話
15	金	マ	B	13:00 歴史を楽しむ会
16	土	マ	B	10:00 私の健康法
		マ	B	13:00 川柳同好会
17	日	マ		
18	月		B	13:00 短歌の会
		別会場	13:00	手作りの会
19	火		B	10:00 楽しい暮らし方
			B	13:00 映画鑑賞会
20	水	アオッサ6階レクAB	13:30	うたのサロン
21	木	コートダジュール	13:00	カラオケうた会
			B	13:00
22	金	マ	B	13:00 気軽に話せる場所
23	土	マ		
24	日	マ		
25	月		B	13:00 スマホ勉強会
		市体育館	13:00	ピンポンの会
26	火		B	13:00 音楽鑑賞会
		ハピリン4F	13:30	芸能倶楽部
27	水		B	13:00 インターネットで世界旅行
		市体育館	13:00	ピンポンの会
28	木		B	13:00 例会
29	金	マ	B	13:00 囲碁将棋
30	土	マ		
31	日	マ		

手動場所は、福井駅前よろず茶屋(エコライフプラザ内)でAは3階、Bは2階



海水を飲み込むトールの井戸 (アメリカ)

るので、たくさんの方のご参加を期待しています。インターネット世界旅行案内先世界の珍しい場所に行ってみよう

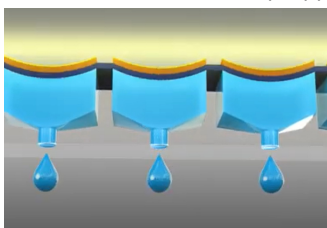
世界中には、日本ではとても見られないような珍しい場所があります。今回は、国別ではなく、そんなところを見に行きましょう。(案内は吉岡副会長)

スマホ勉強会

今回は、スマホで聴きたい音楽の探し方、音だす方法、動画として視聴する曲名を知ったり、音楽の曲名を飛ばし、スピーカーやイヤホンで聴く方法などスマホで音楽を楽しむ方を見方を勉強しよう。(講師は吉岡副会長)

易しい科学の話

プリンターは、どのようになっているか、印刷できるのだろうか、以前、写真といえばフィルムに写した画像を現像焼き付けましたね。今では、デジタルカメラやスマホで写したデジタル画像を、プリンターできれいに印刷できます。



卓話を聴く会、よろず討論会、夜明けの会、新聞記事を読む会、私の健康法、楽しい暮らし方、気軽に話せる場所、以上のサークルは、参加者の間でも情報交換や、討論、また勉強もでき、会話も弾むサークルです。奮ってご参加ください。

音楽鑑賞会

（講師は吉岡副会長）
毎回クラシックとポピュラーの素敵な音楽が鑑賞できます。
主宰者は小林副会長

討論や会話が弾むサークル